

テキストの訂正

- 13 ページ例 1.11
誤 : $\mu \in \mathbb{R}^1 \Rightarrow$ 正 : $\mu \in \mathbf{R}^1$
- 13 ページ例 1.11 の 1 行下
誤 : $\mathbb{R}\mathbb{R}^m \Rightarrow$ 正 : \mathbf{R}^m

質問と回答

- 板書で、 $[a_1, b_1) \cup [a_2, c_2)$ とあったのですが、 $[a_1, b_1) \cup [a_2, b_2)$ ではないですか。
そうです。書き間違いです。
- 例 1.11 のプリントにある $P((a, b])$ と、先生がノートに書かれた $f(x)$ とは？
プリント 13 ページの例 1.11 の上にある、 $f(x)$ として、次の関数を用いたものが、正規分布と呼ばれます。

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} \exp\left(-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2}\right)$$

- 14 ページで使われている \equiv と $=$ は同じものですか。
 \equiv は、記号 \times (σ -集合体の直積) の定義という意味で使っています。 $=$ で定義を表すこともあります。ここでは、 \times は、単なる集合としての直積も表すので、等号を使うと、集合としての直積が、右辺の直積から生成される σ -集合体と等しいという意味に誤解される恐れがあるからです。